

論点整理表【南部地区職業教育拠点校整備事業】

部会審議内容(第1回部会:平成29年9月1日)	
委員からの質問・意見	県の回答・説明
I 事業の概要	
<p>①中学生の人数減少に応じ、学校の規模を縮小するという説明であったが、出口のニーズはどうか。74ページを見ると柴田農林高の倍率は非常に高く、大河原商業高には低い学科があり、農業を4学級から2学級に減らすことが適切なのか疑問に感じる。 【河野委員】</p> <p>学級数を減らすのは分かったが、その減らし方や構成を変えている根拠を教えてほしい。農業の学級数が減っている理由を説明してほしい。【河野委員】</p>	<p>75ページ及び77ページに柴田農林高及び大河原商業高の進路を記載しているが、新設校についても、これまでと大きく変わるとは想定していない。カリキュラムについては、両校のこれまで取り組んできた部分を反映させるべきものは反映させて検討する。</p> <p>学科の規模に関して、現在柴田農林高校の倍率は、1.1倍程度であるものの、今後生徒が減少していくことを踏まえると、拠点校における各学科の学級数の減少は少子化の観点からやむを得ないものと判断した。【教育企画室】</p>
<p>②拠点校の目玉は新設のデザイン学科だと思うが、1クラスとなっている理由を教えてほしい。デザイン学科は県内初であり、これからの需要として望まれていると思うがいかがか。【西出委員】</p>	<p>デザイン科は県内初であり、全国的にも商業系のデザイン学科はあまり例が多くないので、そういう意味では今回の特色の1つである。例えば商品開発のアイデアや販売時の見せ方を学ぶ学科イメージであるが、その際には原料から製品が出来上がるまで全体を通して見るが必要になってくるので、農業系、商業系の学科と連携をするという立ち位置から、今回は農業2、商業3、デザイン1が妥当な規模であると判断した。【教育企画室】</p>
<p>③デザイン学科の進路について、どういう就職先を想定しているか、また、この地域で40人の卒業生を出すことが就職に関してどうなのか説明してほしい。【橋本委員】</p>	<p>デザインを専ら職業とする人材というよりは、地元の企業などで商品開発やマーケティングなどに関わる人材を育てたいというコンセプトとしている。【教育企画室】</p>
<p>④進路について、国公立のデザイン系の大学と書いてあるが、商業関係も見据えた形で書いていく必要があると思う。施設面での充実に向けて、具体的に検討してほしい。【京谷委員】</p>	<p>今後校舎の設計を組む段階で、教室だけでなく設備も含め、どのようなスペックのものを整備しなければならないか、御指摘の点も踏まえ検討する。【教育企画室】</p>
<p>⑤アセットマネジメントの概念を入れてほしい。建替え理由を築年数だけで判断しているが、年数が経過しても、技術的に残有耐力がある建物は結構あるので、今回対象の2校に関してどれぐらいの老朽化なのか、築年数ではなく技術的な面で示してほしい。【平野委員】</p>	<p>大事な観点であり、県として取り組み始めたところである。築40年以内のものについて長寿命化のための改修工事を施工して極力長く使っていくという方向で検討しており、平成32年度までに個別施設計画を立て、今後2カ年ぐらいかけてどの校をどうしていくかということを検討していく。</p> <p>今回対象の2校については、そのタイミングを逸しており、一般的な建築学会の45年経過ということで長寿命化が難しいという判断をした。</p> <p>なお、棟ごとの劣化度調査は定期的実施しており、両校とも相当程度危険度判定に至っており、日常的な維持補修に努めているが、やはり抜本的な改築が必要であると判断したところである。次回説明させていただく。【施設整備課】</p>

部会審議内容(第1回部会:平成29年9月1日)

委員からの質問・意見	県の回答・説明
<p>⑥中学校卒業生数の将来予測(附属資料9)について、南部地区で2割減る根拠及び中部地区が一旦減少するけれどもまた増えていく理由について説明してほしい。【佐藤委員】</p>	<p>推計方法は、平成28年3月の卒業生までは実績値を計上しており、29年3月卒業生以降の部分は推計値になる。これは0歳から5歳までは平成28年4月1日時点での住民基本台帳の人口、小学校1年生から中学校3年生までは平成28年学校基本調査の在籍生徒数をもとに、社会増減を加味して算定している。この将来予測では10年後の平成38年度に南部地区において350人の減、率で22%の減となっている。【教育企画室】</p>
<p>⑦新しい学科のデザイン系をきちんと教えることのできる先生の確保の見込みと、農業系と商業系の学級数が減るので先生を減らすという方向で考えているのか説明してほしい。【千葉委員】</p>	<p>新しく設置する学科で適切なカリキュラムを提供していく上では、教員の確保は重要であるので、平成35年開校に向けて準備段階から人事担当課とも調整していきたい。【教育企画室】</p>
<p>II 事業内容</p>	
<p>—</p>	<p>—</p>
<p>III 事業費</p>	
<p>①維持管理費について、拠点校の修繕費が約27億円である一方、宮城第一高は約13億円である。実習施設の有無だけでこれだけの差が生じるのか疑問である。他に具体的な理由があれば示してほしい。【福田委員】</p>	<p>拠点校は職業高校ということで特別教室や実習施設がかなりあり、その点で管理経費が当然相当かかるため、進学校の普通高校と比べると差が生じる。2校とも類似の高校の実績をベースに想定して積算しているので、詳しい資料については、次回御提示させていただく。【施設整備課】</p>
<p>IV 評価結果 1. 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか。(規則第1号関連)</p>	
<p>—</p>	<p>—</p>
<p>IV 評価結果 2. 県が事業主体であることが適切であるかどうか。(規則第2号関連)</p>	
<p>—</p>	<p>—</p>
<p>IV 評価結果 3. 事業を行う時期が社会経済情勢から見て適当であるかどうか。(規則第3号関連)</p>	
<p>①南部地区の平成29年度の募集定員が1,560であり、これから2割減る予測なのであれば、その2割分をどういった戦略をもって統廃合、学級減等をしていくのか、マスタープランがあって、その中の位置付けを説明する必要があると思う。【平野委員】</p>	<p>個別具体の対応については、毎年度実施している人口の動態を踏まえ、全県でどの地区でどれくらいの規模で定員調整を行うべきかを検討して決定しているところである。今回の再編統合は新県立高校将来構想のアクションプランである第3次実施計画で位置付けている。 今後の計画についても、どの年度で何学級分を減らすかは、推計結果から個別具体に検討するので、今のところどの地区のどの学校でどれくらい減らすかというものは持ち合わせていない。【教育企画室】</p>
<p>IV 評価結果 4. 事業の手法が適切であるかどうか。(規則第4号関連)</p>	
<p>—</p>	<p>—</p>
<p>IV 評価結果 5. 事業の実施場所が適切であるかどうか。(規則第5号関連)</p>	
<p>—</p>	<p>—</p>

部会審議内容(第1回部会:平成29年9月1日)

委員からの質問・意見

県の回答・説明

IV評価結果 6. 事業が社会経済情勢から見て効果的であるかどうか。(規則第6号関連)

—

IV評価結果 7. 事業の実施に伴う環境への影響が少ないかどうか。(規則第7号関連)

①工事の実施について、学業等になるべく影響がないようにしなければいけないと思うが、そのあたりはいかがか。【橋本委員】

学校運営に支障がないように学校側と施工業者とも調整し、御指摘の点について影響を極力少なくするように対応する。【教育企画室】

IV評価結果 8. 想定される事業リスク及び当該リスクへの対応策は十分か。

①白石川の氾濫による想定浸水が3メートルから5メートルとの記述があるが、建築校舎に具体的な整備や特殊なものが必要なかどうか教えてほしい。【福田委員】

学校の建物という意味でのハード面で特別な仕様を行うのではなく、ソフト面で対応を充実させることによりリスクを低減させたいと考えている。【教育企画室】

②過去に浸水したことはあるのか。【佐藤委員】

詳しくは改めて確認させていただくが、校舎に水が入ってきたという規模のものではなく、周辺のグラウンドや農地に少し水がたまった事例はあると聞いている。【教育企画室】

③浸水想定区域は河川の氾濫が発生したときのことを仮定してつくられているが、ソフト面での対応が間に合わないことも多々あるので、校舎をつくるときに、3階や4階に全員の人員を収容できるかチェックしたほうがよいと考える。【風間委員】

設計業務はプロポーザル方式で実施することから、建物のレイアウト等、今、形として持っているものはないが、今後設計を進めていく中で、その視点も取り入れて、対応していく。【教育企画室】

IV評価結果 9. 事業の経費が適切であるかどうか。(規則第8号関連)

—

<部会での審議論点まとめ:奥村部会長>

- ・基本的に学校の規模を縮小していく方向と、あるいは統合して新しい目玉をつくっていくということについては理解は得られていると思う。
- ・現在の南部地区全体の高校の状況の中で、ここがこのぐらいの縮小を受け入れるべきかどうかを整理していただきたい。
- ・施設をどうするかに関連するので、商業と農業のクラス構成について、これまでどういう議論がされて、どういう方向がいいと考えられているのか次回説明いただきたい。
- ・建替えないとか、このままにしておくという議論ではないと思うので、次回追加で説明いただきたい。